



尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で
質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

病院長 土本正治

2015年(平成27年)4月1日付けで尾道市立市民病院の病院長に就任いたしました。私は当院へ1985年(昭和60年)10月1日より勤務し、はや勤続30年近くになります。また2003年(平成15年)からは、副院長としての管理業務にもたずさわってまいりました。

これまでスタッフに恵まれ、充実した診療、管理業務ができたと思っております。10年前にあらたな研修医制度が導入され、医療崩壊(地域医療機関の医師不足)にさらされ、DPC包括医療の導入、7対1看護体制導入、電子カルテ導入など、また医療訴訟への対応など、様々な課題に対処してきました。

1999年(平成11年)には新館が増築されましたが、本館はすでに新高山に移転後32年もたち、最新鋭の診断機器を設置するためのスペースの確保や、老朽化への対応を考慮する必要性もでてきております。

また今後は消費税増税、新規医療機器の導入など、経費面での厳しさにも直面しています。経営的な安定も重要課題であり、また地域住民への高度な医療サービス体制を維持することも要求されております。医療情勢も2025年問題をひかえ、病床機能報告制度に基づき、地域医療構想による病床機能の再編が予定されています。

よりよい医療サービスを提供しつづけることが当院の使命でもあり、そのためにはあらゆる面で、これまでのシステムも再検討する必要性に迫られています。

今後も病院運営にとってはますます厳しい情勢が続くと思われませんが、本年も新しいスタッフを迎え、さらなる発展ができることを信じております。

これまでも幸い当院では優秀なスタッフに恵まれており、全員でこの難局を乗り切る所存であります。

病院事業管理者就任のごあいさつ

尾道市病院事業管理者 片岡 幹男



この度、空席でありました尾道市病院事業管理者に着任いたしました。着任に当たり一言ご挨拶申し上げます。尾道市立総合医療センター（尾道市病院事業）には尾道市立市民病院、瀬戸田診療所、公立みつぎ総合病院及び保健福祉総合施設等があり、病院事業管理者としての重責をひしひしと感じております。

まず私の自己紹介を致します。私は昭和50年に岡山大学医学部を卒業し、岡山大学医学部第二内科（現在血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科）に入局し、1年目の初期研修は呉市にある呉共済病院で、2年目は愛媛県東予市（現在西条市）にある公立周桑病院で受けました。昭和50年は広島カープが初優勝した年で、優勝した日の広島市内の様子は今も思い出されます。2年目の周桑病院は石鎚山の麓と瀬戸内海に囲まれた田舎町で、当時はあまり話題にもなっていなかった「地域医療」の一端に触れたと思っています。

初期研修後は岡山大学で血液・腫瘍の臨床、研究を行ってまいりましたが、途中、国立療養所南岡山病院に赴任し、結核診療に携わってからは大学に帰ってからも呼吸器・アレルギーを主に専門としてまいりました。岡山大学での最後の15年間は岡山大学大学院保健学研究科と医学部保健学科において、看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師などの教育に携わってまいりました。

医師を中心に、薬剤師、看護師、保健師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師などのコメディカルが相互に連携、協力する「チーム医療」をモットーに教育を行ってきましたが、当院でも卒業生の何人かが各職場で頑張っており、非常に頼もしく思っております。

岡山大学の最後の2年間は保健学研究科長として、研究科、学科の管理運営を行なってまいりました。この経験を活かして病院事業管理者の務めを果たしたいと思っております。

さて、尾道市立総合医療センターに属する尾道市立市民病院と公立みつぎ総合病院は地域中核病院として、それぞれの特徴を活かした運営がこれまで成されており、引き続き、土本院長、西村院長のリーダーシップのもと更に発展するよう全面的にバックアップする所存であります。

市立病院の機能として重要なものは、充実した急性期医療と、頻度の高い疾患に対して安全・確実かつ高度な医療を提供することであろうと考えます。また厚労省が推しすすめております「地域包括ケアシステム」は公立みつぎ総合病院の山口昇名誉院長・特別顧問が日本で最初に「地域包括ケア」として提唱、実践された保健・医療・介護・福祉の連携・統合システムであり、これまでの実績をもとにそれぞれの地域性を活かしたシステムを拡げて行きたいと考えております。

一方で現在の公立病院を取りまく環境は大変厳しく、総務省は各自治体が公立病院改革プランを策定するための基礎となる新たな公立病院改革ガイドラインを発表し、「経営効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」などを柱として挙げ、地域医療構想と整合性を取りながら改革を進めることを求めています。

公立病院は不採算医療を含め、これまで公正・公平な医療を提供を行ってきましたが、これからは利用者信頼される医療が提供でき、かつ健全経営の両立できる病院を作っていかなければなりません。

ここでいちばん問題となるのは、両病院への医師の確保であります。我が国の現在の医師不足の原因は医療需要の増大、医師の高齢化、専門細分化などによる医師の絶対数の不足と地域偏在、診療科の偏在などによる医師の偏在があげられます。これらの問題を我々の病院のみで解決することは困難と思いますが、医師を派遣して戴いております岡山大学、広島大学、広島県（自治医科大学）とは更に密に連携をして、医師の確保に努めて行かなければと思っております。

もう1つ大事なことは、魅力ある病院や教育プログラムによる初期研修医、後期研修医の確保であります。これには地道な努力が必要ですが、将来的には医師確保の最も有効な方法ではと考えます。これは医師に限ったことではなく、地域医療に関わる多職種医療人を育成し、地域におけるチーム医療を推進して行きたいと思っております。

地域の皆様には更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

新副院長ごあいさつ



副院長(泌尿器科) 大枝 忠史

このたび尾道市立市民病院の副院長を拝命いたしました、泌尿器科の大枝と申します。よろしくお願いいたします。

1997年の4月に赴任して参りまして以来、18年にわたり尾道の地にお世話になっております。当時はしまなみ海道も開通しておらず、尾道駅前も現在の姿とは大分違っていました。旧病院官舎の近くの東尾道駅がつい半年前にできたと聞いて驚きました。私たちの病院の中もゆったりした雰囲気が漂っていましたが、日本全体がそのような空気だったのかもしれない。新館はまだなく、こぢんまりした働きやすい病院という印象でした。そして、その後は病院をとりまく環境や制度も様々に変わる中、それに応じて病院の体制も変化しながら、尾道市の急性期病院としての役割を果たして来たと思います。増築・増床に伴い医師の数も増えましたが、職員同士の和気あいあいとした関係はずっと変わっていないと感じています。

これまで私は泌尿器科の一医師として、主に自分の専門領域の知識と技術を磨き、泌尿器科の後輩医師を育てることを第一としてまいりました。当院の職員の方々はもちろん、医師会の先生方や関係の皆様のおかげで、わがまを聞いていただき、何とか無事にやって来ることができました。心から感謝いたしております。今後は病院全体のことを考える立場で、土本院長始め病院のスタッフとともに、少しでも市民の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

私に何ができるのかは自分でも全く未知数ではございますが、できるだけ多くの方々に見守っていただき、ご批判をいただき、ご指導いただければ幸いに存じます。

新看護部長就任のごあいさつ



看護部長 上谷 紀子

本年4月に、尾道市立市民病院の看護部長に就任いたしました。私が当院に就職したのは、新築移転した年でしたので、32年が経過しました。大好きな故郷尾道で、永きにわたり働くことができたことを、幸せに思っております。

我が国においては、世界に例を見ない少子超高齢社会を迎え、社会保障制度の見直し、医療法の改正など、2025年に向けて様々な検討がされています。そして市民の方々が住み慣れた自宅において、望まれる生活を送ることができる「地域包括ケアシステム」の構築と推進がおこなわれています。当院は、地域に密着した急性期病院です。患者さんを地域で暮らす生活者として、病気のみ着眼するのではなく、全人的に捉えて、患者さんや御家族が望む生活ができるように、支援することを心がけています。そのためには、治療しない病気、加齢による変化や障害を抱える患者さんの、残存する機能を引き出し、患者さんがどうしたいのか、自らが自己決定することを支援すること、いわゆる「意思決定支援」をおこなう事が、重要となってきています。患者さんのQOLのみならずQODをも考え、医療者としての倫理的視点で治療、看護を提供することが必要です。

当院においては、患者さんを中心としたチーム医療を推進し、医師、看護師等の医療スタッフが協働できるシステムも充実しています。入院中は勿論のこと退院される時も、チームで関わることを大切にしています。急性期病院の看護師たちも、地域に出始めました。退院前に、リハビリ担当者や自宅に出向き、生活の場を見せていただき、退院後の生活に必要な自宅の改修等について、患者さんや御家族の方と共に考えます。そして退院後も必要に応じて、地域の訪問看護師と当院の認定看護師、病棟の受け持ち看護師が共に訪問し、状況を把握します。在宅における患者さんの生活を知ること、自分たちの行った看護について評価することができ、やりがいにもつながっています。

そのような看護を提供するためにも、自律した看護師の育成が急務と言われております。当院においては、人材育成にも力を入れています。新人看護職員研修制度を導入し、計画的に研修を開催しています。そして、ジェネラリスト、スペシャリスト、看護管理者教育なども組織的に支援しています。

全国平均より早く、少子高齢化を迎えつつあるこの地域において、市民の方々が住み慣れた自宅において、望まれる生活を送ることができますように、地域連携の拡充に向けて取り組みたいと思っております。そして看護師がマネジメント力を発揮し、多職種と協働して、尾道市民病院が理念に掲げています「信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆様の健康を守ります」が実現できますように、尽力する所存です。

何卒よろしくお願いいたします。

新任医師の紹介



内科 杉山 晃一

はじめまして。4月より尾道市民病院の内科に勤務させていただいている杉山です。これまでの略歴ですが、2000年に岡山大学医学部を卒業、愛媛で約5年の内科研修を経て、その後10年間岡山大学腎免疫内分泌代謝内科(旧第三内科)で膠原病を専門として研究と診療にあたってきました。

大学での研究生活の傍ら、趣味の延長で漢方やアーユルヴェーダなどの東洋医学、鍼灸や波動療法、カウンセリングといった代替療法も学んでいます。

大学病院で専門としてきたリウマチ・膠原病は、原因不明で根治は困難とされる疾患がほとんどです。研究の成果により有効性の高い薬剤も次々と開発されてきていますが、期待される効果と副作用のリスクとを常に天秤にかける診療の毎日でした。

治療に絶対的な正解を見いだすのは困難で、患者さんとのコミュニケーションの重要性を感じる事が常でした。今後も先進医療にキャッチアップすると同時に、全人的医療を目指して診療にあたりたいと思っています。

ところで、前述以外の趣味として、幼少期よりバイオリンを習っていて、岡山ではいくつかのオーケストラに所属し、自分で楽団を作っていたこともありました。仕事に慣れて時間ができるようなら、また演奏活動を再開したいと思っています。

最後に、赴任してきてまだ日は浅いのですが、尾道の風土が大変気に入っております。いままで個人的には所縁の無かったこの土地ですが、長く皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っていますので、よろしくお願ひします。



泌尿器科 河田 達志

2015年4月1日より尾道市立市民病院泌尿器科医として勤務させていただいております。

私は岡山県岡山市出身で、大学は上京し、東京医科大学を卒業しました。その後岡山に戻り、岡山大学病院を拠点に津山、岩国など様々な病院で初期研修に励みました。

2014年より岡山大学病院泌尿器科に入局し、このたび尾道市立市民病院で勤務させていただくこととなりました。

初期研修中は岡山を中心に、様々な地域で研修しましたが、医療においてもそれぞれの地域で需要は異なり、地域にあった医療サービスの必要性を体感致しました。

泌尿器科といっても排尿障害、腫瘍、尿路感染症、結石、尿路奇形など診療分野は多岐に渡りますが、各々の地域での患者様の需要は異なってきます。

中でも排尿障害は生活の質に直接的に影響する問題であり、排尿トラブルに関するご相談は増加傾向にあります。

生活の質の向上のためには個々の患者様に応じた治療が必要になり、地域性、生活環境など考慮の上需要に応じた治療を提供できるよう診察することを心がけておりますので、お気軽にご相談いただければ幸いです。

また、高齢化が進む中、前立腺癌を始め、腎癌、膀胱癌など悪性腫瘍も年々増えてきております。病診連携を活かし、早期発見し、手術療法、放射線療法、化学療法、内分泌療法など、状態に応じたより低侵襲な治療方法を相談させていただければと思います。

尾道市立市民病院医師として尾道市民の健康向上のため、地域に貢献できればと思っておりますので、宜しくお願い致します。



消化器内科 松本 栄治

2015年4月1日より尾道市立市民病院消化器内科に勤務させていただいております。2006年に福井大学を卒業し、福井県内の県立病院等で初期研修を行った後、主に放射線科医として画像読影業務に携わりました。

2012年より地元福山に戻り、日本鋼管福山病院にて内科・消化器内科医として3年間勤務しました。健診を含め多数の内視鏡症例を経験し、高齢の方々の多岐に渡る診療に携われた経験を活かしつつ、患者さんに負担の少ない内視鏡検査、治療を身につけることを目標に、さらに研鑽を勤める所存です。

地元の隣町でありながら尾道には初めて関わりを持つことになりましたが、両親の生家が瀬戸内の大崎上島であり、しまなみ街道を一望できる病院で勤めることを誇らしく思っています。

地元備後の皆様の力になれるよう、日々精進していきます。よろしくおねがいします。



整形外科 鈴木 美穂

平成27年4月より尾道市立市民病院に赴任してまいりました、整形外科の鈴木美穂です。

平成23年3月に愛媛大学を卒業後、地元岡山に戻り、岡山大学病院などで研修を行いました。平成25年4月からは岡山済生会総合病院で整形外科医として生活をスタートさせました。そこで専門性の高い上司に見守られながら、各分野の基礎をじっくり学んでまいりました。まだまだ未熟で、技術も知識も足りませんが、日々の診療に全力で取り組み、最新の知見にもアンテナを張り巡らせて、最良の治療が行えるよう努力していく所存です。笑顔をもっとに頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

岡山という近隣に住んでおりながら、尾道には初めて足を踏み入れました。非常に風光明媚な場所で、街行く人もみんな暖かく、とても良いところに来させていただいたなと思っております。

引越し翌日には千光寺に花見に行き、とても優雅な時を過ごすさせていただきました。海の幸もとても充実していると伺ったので、ぜひ堪能したいと考えております。

何かおすすめの情報がありましたら、外来の際にでもこそっと教えていただければ幸いです。

今後ともよろしくお願いいたします。



外科 公文 剣斗

このたび4月から尾道市立市民病院に勤務しています公文剣斗と申します。地元高知の高知医療センターで初期臨床研修を経て、そのまま外科の後期研修へと移り、5年間を過ごしてきました。

今回が初の異動であり不安な気持ちもありましたが、市民病院のスタッフのみなさんにあたたかく迎えていただいて、居心地良く過ごさせていただいております。

市民病院に来て気づいたことがあります。市民病院ではチーム医療が謳われるなか、開業医の先生との連携もつよく、地域全体でチームとなり、診療を行える環境が整っていると感じました。

また近年の腹腔鏡手術の普及にともない、市民病院でも積極的に取り組み、患者さんごとに適した術式を選択し、質の良い医療を提供していると感じました。

前任地とは病院の性質が異なるところもありますが、今までの経験を活かし尾道の住民の皆さんに貢献できればと思っています。

まだまだ経験不足で、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、医師としての初診を忘れず、目の前の患者さんのために、診療にいつそう邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新任看護師の紹介

今年、10名の新採用者を迎えました。今年度は診療科の編成もあり、各部署の教育担当者や実地指導者が中心となって、新しい診療科編成でのマニュアルやチェックリストの見直し、年間計画の立案など体制を整え迎える準備をしてきました。

新人看護師たちはみんな、臨床現場で見ることも聞くことも初めてのことがたくさんあり不安でいっぱいです。少しでもそんな気持ちが軽減できるよう「みんなで育てる」を合い言葉に、スタッフ全員が温かく見守っています。各部署では、新たな仲間を迎え爽やかな風が吹き込み、緊張した表情の中にも笑顔が見られています。

新人看護職員の教育体制は、厚労省の新人看護職員研修ガイドラインを基盤にした研修として4年目を迎えました。集合研修では、院内のスペシャリストや先輩ナース、そして医師・コメディカルがきめ細やかに、そしてタイムリーにサポートしてくれています。新人看護師たちも、生体モデルを使用した演習では真剣そのものです。基本的な看護技術の習得をめざし、日々頑張っています。また、各部署に配置された教育担当者(1名)、プリセプター役の実地指導者(1～3名)が「共育」の意識のもと「みんなで育てる。みんなで育つ」の風土づくりに一役かってくれています。さらに、看護部としては教育委員会とともに、新人看護師と指導者がバーンアウトすることなく共に成長できるよう見守りの手を差し伸べていきます。

看護部教育担当 看護師長 川村 美香



平成26年度「職員顕彰」受賞者を表彰

「尾道市立市民病院職員顕彰制度」の第4回目となる受賞者が決定し、患者さんアンケートにより7名の職員を表彰しました。

この制度は、日々患者さんの視点で積極的に業務をこなし、優れた実績を挙げた職員の功績を称えるもので、全職員の資質と意欲高揚を図ることを目的としています。表彰の対象は、看護師・コメディカル、事務職等、医師を除いた全職員を対象としています。

職員顕彰の受賞者は、尾道市立市民病院厚友会総会という病院全体の歓送迎会にて表彰されます。今年も4月16日に開催されましたが、眼科医療アシスタントの冠郁恵さんが受賞者の代表として院長から表彰状を受け取りました。

この会は、300人以上もの病院職員が出席するもので、毎年行われています。イベントとしてマグロの解体ショーなども行われ、大変楽しく盛り上がりました。

この顕彰制度が全職員の意欲高揚につながり、業務改善に役立つものと期待しています。今後も職員の励みにしたいと考えておりますので、ぜひご協力をお願いします。



次のとおり平成26年度の職員顕彰表彰者を決定しました。

所属	名前	アンケート内容(要約)
眼科 医療アシスタント	冠 郁恵さん	受付時、やさしくはっきりといねいにスマイルで応待して下さい、大変うれしかった。よくわかりました。
耳鼻いんごう科 医療アシスタント	小林 莉枝さん	受付時、やさしくはっきりといねいにスマイルで応待して下さい、大変うれしかった。よくわかりました。
医事課 運転員兼相談員	寺田 勇さん	気分が悪くてボーとしていたら、声をかけてくださって、心細い思いをしなくて良かったです。いろいろな人たちに声をかけている姿を見て、優しい人だなと思います。
内科 医療アシスタント	藤田 久美子さん	いつも元気をもらっています。笑顔がすてき。薬のわからないことをすぐに先生に聞いてくれて、あまこのまま飲んでいいんだとほっとしたことは何回もあります。
リハビリ科 作業療法士	森 健次郎さん	説明を受けて、はっきりとよくわかりました。患者の悩みをよく聞いてくれて、よくアドバイスして下さい。ほんとに心を痛されました。ありがとうございました。涙が出るほどうれしかった。本当に情けなくていけん時、優しくしてください本当にありがとうございました。
点滴処置室 看護師	門田 雅子さん	動きは少し遅く感じましたが、採血はとても上手でした。いつも不安(時間がかかる、さがせないなど)なのですが、早く的確で驚きました。
脳神経外科 医療アシスタント	行廣 真弓さん	受付時、やさしくはっきりといねいにスマイルで応待して下さい、大変うれしかった。よくわかりました。

《平成26年度表彰者(五十音順)》



表彰式の模様



懇親会の模様



恒例となったマグロの解体ショー

尾道市立市民病院 科別診療割表

【地域連携室】 TEL: 0848-47-1170 FAX: 0848-47-1171 【代表】 TEL: 0848-47-1155 FAX: 0848-47-1004

2015/6/1現在

区分	科別	月	火	水	木	金	備考		
午前	内科	1 診	城戸 雄一 内科全般、糖尿病	水戸川 剛秀 内科全般	金尾 浩一郎 腎・内科全般	水戸川 剛秀 内科全般	松下 裕一 内科全般、糖尿病	※1 隔週	
		2 診	杉山 晃一 内科全般、免疫疾患	開原 正展 腎・高血圧	開原 正展 腎・高血圧	金尾 浩一郎 腎・内科全般	石川 立則※1 血液		
		3 診			松下 裕一 内科全般、糖尿病	城戸 雄一 内科全般、糖尿病			
		4 診			杉山 晃一 内科全般、免疫疾患				
		5 診	藤野 寿幸			山脇 泰秀	山脇 泰秀		
	総合診療科	1 診	西山 悠紀 内科担当医				藤澤 隆		
	呼吸器内科	1 診	村上 斗司			村上 斗司	村上 斗司		
		2 診				濱川 佑介		総合診療科2診で診療	
	消化器内科	1 診	松本 栄治	平岡佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 敏生		
		2 診		宮部 敏生				内科3診で診療	
	循環器内科	1 診	岩崎 淳	圓光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫		
		2 診	小林 博夫						
	神経内科	診察		岡本 美由紀			逸見 祥司	予約制	
	外科	1 診	中井 肇 肝、胆、膵、消化器 外来担当医	宇田 征史 消化器、遺尿下 上塚 大一 消化器、ヘルニア	宇田 征史 外科全般	中井 肇 肝、胆、膵、消化器	村田 年弘 外科全般	川真田 修 乳腺、食道	
		2 診			上塚 大一 肛門科	川真田 修	川真田 修		
	血管外科	1 診		越智 吉樹		越智 吉樹			
	乳腺外科	1 診					下妻 晃二郎 (乳腺外来)	9:00~12:00(予約制)	
	整形外科	1 診		藤井 淳一		藤井 淳一	廣岡 孝彦(予約)	※2 鈴木(第1・3金曜日) 藤井(第2・4金曜日)	
		2 診	廣岡 孝彦(予約)	迫間 巧将	廣岡 孝彦(予約)	木曾 洋平	廣岡 孝彦(予約)		
		3 診	藤井 淳一	岡田 卓巳		鈴木 美穂			
4 診		木曾 洋平				迫間 巧将			
5 診				菱 具			鈴木/藤井※2		
形成外科	1 診	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行			
小児科	1 診	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹※3	井上 直樹	井上 直樹	※3 第3水曜日休診		
脳神経外科	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂			
	2 診					岩戸 英仁			
産婦人科	新患再来 妊婦健診	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一			
皮膚科	1 診	櫻野 かおり	櫻野 かおり		櫻野 かおり	櫻野 かおり			
	2 診								
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	河田 達志	大枝 忠史	別宮 謙介	大枝 忠史			
	2 診	別宮 謙介	大枝 忠史	別宮/河田	大枝 忠史	河田 達志			
耳鼻いんこう科	診療あり		診療あり	診療あり		診療あり	広島大学病院より		
眼科	診察	諫見 久恵	三船 啓文	三船 啓文	諫見 久恵	諫見 久恵	9:00~14:00		
放射線科	画像診断	三船 啓文	正岡 佳久	正岡 佳久	三船 啓文	三船 啓文			
	治療	正岡 佳久			正岡 佳久	正岡 佳久			
歯科・歯科口腔外科		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘			
午後	内科	検診	検診	検診	検診	検診	※4 第2・4水曜日		
	総合診療科			フットケア外来※4		山脇/巻端			
	消化器内科	検査	検査	検査	検査	検査			
	循環器内科	禁煙外来(岩崎)	ヘルスメーカー外来※5	心カテ	検査	検査	※5 第1・2火曜日 14:00から 13:00~17:00		
	循環器内科検査 血管診療センター	心カテ	検査・診療	心カテ	検査	心カテ			
	外科	手術	検査	手術	検査	手術			
	血管外科	ストーマ外来(澤井)	検査	手術	検査	手術	第2・4月曜日		
	乳腺外科	手術		手術	手術	手術			
				乳腺外来(樹下) (予約)			松岡(月1回/予約制)		
	整形外科	手術	手術	手術	手術	手術			
	形成外科				手術	手術			
	小児科	検査 予防接種	乳児検診 栄養指導	小児科専門外来 (塚原)※6	神経外来(林)※7	循環器外来(脇)※8	※6 第2・4(14:00~16:30) ※7 第1木曜日 ※8 第4金曜日(偶数月)		
	脳神経外科	検査 頭痛外来(土本)	手術	検査 脳ドック外来(土本)	手術	検査	14:00から		
	産婦人科		母乳外来 1ヶ月検診	母乳外来 母親学級(第3週)	母乳外来 1週間検診	1週間検診			
	皮膚科	検査	手術	手術	検査	検査			
	泌尿器科	手術	手術	手術	手術	検査・予約外来			
	耳鼻いんこう科		睡眠時無呼吸外来(佐々木)						
	眼科	諫見 久恵			諫見 久恵(予約)	諫見 久恵	14:00まで		
	放射線科	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断			
		治療	血管造影	血管造影	血管造影	血管造影	予約制		
歯科・歯科口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約制			
専門外来	禁煙外来	ヘルスメーカー外来 (第1・2週)	フットケア外来 (第2・4週)	肝臓専門外来 小児神経外来 (第1週)	乳腺外来(午前) 小児循環器外来 (偶数月/第4週)				
	ストーマ外来 (第2・4週)	睡眠時無呼吸外来	乳腺外来			予約制			
	頭痛外来		小児科専門外来 脳ドック外来						

1. 休診日・・・土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日 2. 診療受付時間・・・午前8時30分から午前11時まで



科別診療割表

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで
休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

地域連携室 代表番号 08448-47-1155(代)

病院案内図